

令和2年度中堅教諭等資質向上研修は、前期も、後期も、
弘前大学教職大学院の講座を選択していただけます！

参加しやすい長期休業中&休日明けの日程です。

前期

足元をみつめ
新たな実践をつくり出す！
協働ワークショップ

後期

学校を活性化する
実践をつくり出す！
協働ワークショップ

8月7日（金） & 9月23日（水） **9月28日（月） & 12月24日（木）**

教職大学院の選択講座の特徴

- 会場は、弘前大学。リラックスした雰囲気の中で、対話を大切に、ワークショップを進めます！ 小・中・高・特支、合同です。
- これまでの教員生活を振り返り、現場で生まれた疑問について、一緒に考えていきます。
- これまで教職大学院で学ぶ現職教員院生からの評価が高かった内容を織り込んで、研修プログラムを構成しています！
- 教職大学院修了生が、学校現場で同僚とともに取り組んだ実践研究について、語ります。

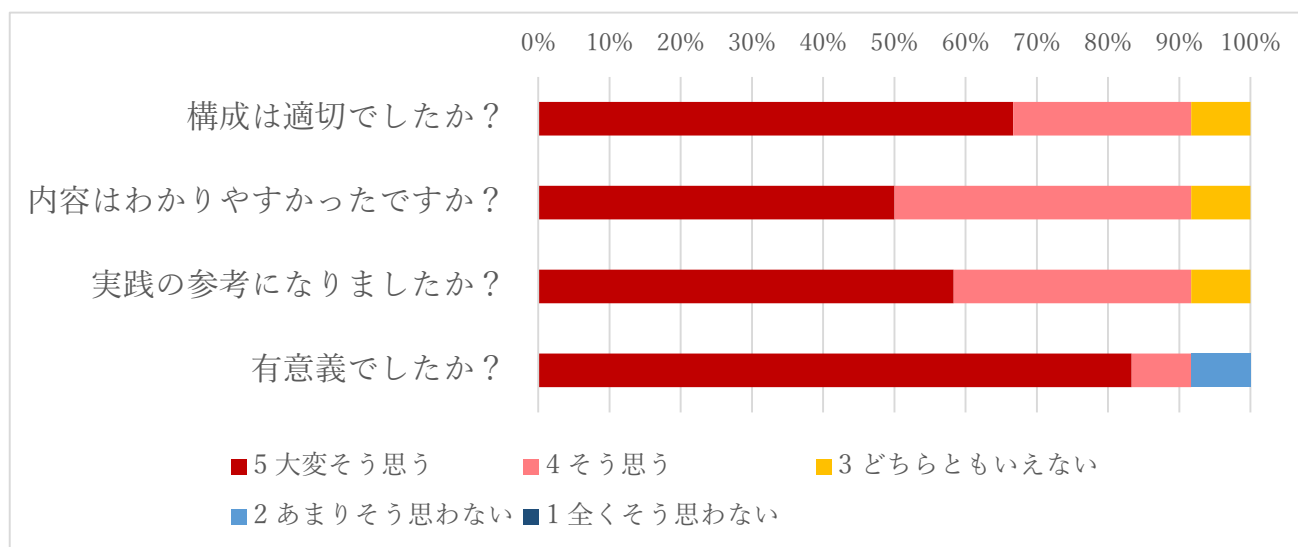
受講申込みについては、令和2年度中堅教諭等資質向上研修（前期）及び（後期）の実施要領をご確認のうえ、青森県教育庁学校教育課にお申込みください。

受講が確定しましたら、教職大学院から受講決定通知書を送付します。

2019 年度中堅研受講者の評価

弘前大学教職大学院は、2019 年度、初めて中堅教諭等資質向上研修（前期）の代替講座を実施し、12 名の方が受講されました。

無記名で記入していただいた受講者アンケートの結果は、次のとおりです。



肯定的な評価がいずれも 9 割を超え、とくに「有意義でしたか？」の項目では、8 割以上が「大変そう思う」でした。自由記述欄には、次のような声が寄せられました。

「ワークショップ」というと、いろんな人と話す、ということで敷居が高いかな…と思っていたのですが、2日間、私の自己肯定感が高まったように感じました。すごく有意義な 2 日間でした。

今回の講座では、何より他校種の方々や様々な実践・経験をされた方々と触れ合う機会を得られたことが有意義であったと感じている。

社会人としての経験をした上で改めて先生方のお話を聞くことができたのは、私にとって、とても良い機会でした。既成概念に囚われてない新たなものを生み出すワクワク感を味わうことができました。

一方、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」という回答も 1 名の方から寄せられました。理由の一つとして、昨年度の 11 月 12 日（火）・26 日（火）という日程設定が、仕事上大変きつかったということが自由記述からわかりました。

そこで！

令和 2 年度は、中堅研の前期・後期とも、1 日は長期休業中、もう 1 日は、休日明けの日にしました。前日が休みであれば、遠方からも参加していただきやすいのではないかと考えています。久しぶりに大学で学びませんか？ 多くの皆様のご参加をお待ちしています！

弘前大学教職大学院

令和2年度中堅教諭等資質向上研修（前期）選択講座実施要項

1. 講座名 「足元をみつめ新たな実践をつくり出す！協働ワークショップ」
2. 期日 令和2年8月7日（金）及び9月23日（水）
3. 対象 小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員対象（合同で実施） 定員なし
4. 会場 弘前大学教育学部
5. 講師 吉田美穂准教授、福島裕敏教授を中心とした教職大学院教員、教職大学院修了生
6. 内容

1日目 8月7日（金）		2日目 9月23日（水）	
9:15	受付	9:15	受付
9:30	アイスブレイク・自己紹介	9:30	発表 観察・インタビューから見えてきたこと 発表・質疑応答・コメント
9:50	講義 講座のねらいと構成について ～指標を読み解く～形成期から向上・発展期へ～		
10:30	プレゼンテーション1 ～教職大学院修了生Aさんの実践研究～ コメントシートに記入・提出	10:30	プレゼンテーション2 ～教職大学院修了生Bさんの実践研究～ コメントシートに記入・提出
11:10	ワークショップ1 修了生Aさんの実践研究の背景にあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示	11:10	ワークショップ4 修了生Bさんの実践研究の背景にあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示
12:20	休憩	12:20	休憩
13:10	ワークショップ2 自分の実践と勤務校をみつめる ～気になること、変わったらいいなと思うこと～ 作成と協議	13:10	ワークショップ5 勤務校で、新たな実践をつくり出すために… ～小さなプランを立ててみよう～ 作成と協議
13:50	講義 質的データ収集の方法を知る ～観察・資料収集・インタビュー～	14:30	講義 専門職としての省察のために
14:20	ワークショップ3 勤務校を深く知るために ～観察・インタビュー等の計画を立てる～ 作成とアドバイス	15:00	ワークショップ7 教職コアリフレクション
15:35	終了	16:00	まとめと振り返り これまでの5年・これからの5年
		16:20	終了

弘前大学教職大学院

令和2年度中堅教諭等資質向上研修（後期）選択講座実施要項

1. 講座名 「学校を活性化する実践をつくり出す！協働ワークショップ」
2. 期日 令和2年9月28日（月）及び12月24日（木）
3. 対象 小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員対象（合同で実施） 定員なし
4. 会場 弘前大学教育学部
5. 講師 吉田美穂准教授、福島裕敏教授を中心とした教職大学院教員、教職大学院修了生
6. 内容

1日目 9月28日（月）		2日目 12月24日（木）	
9:15	受付	9:15	受付
9:30	アイスブレイク・自己紹介	9:30	発表 実践プランを進めてみて… 成果と課題 発表・質疑応答・コメント
9:50	講義 講座のねらいと構成について ～指導を読み解く－ミドルリーダーとして～		
10:30	ワークショップ1 教職ライフラインを語り合おう ～省察とキャリア形成～ 作成と発表	10:50	ワークショップ5 よりよい実践に向けての省察 協議
11:50	プレゼンテーション1 ～教職大学院修了生Cさんの実践研究～ コメントシートに記入・提出	11:50	プレゼンテーション2 ～教職大学院修了生Dさんの実践研究～ コメントシートに記入・提出
12:30	休憩	12:30	休憩
13:20	ワークショップ2 修了生Cさんの実践研究の背景にあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示	13:20	ワークショップ6 修了生Dさんの実践研究の背景にあるもの ～組織の中で新たな実践を目指すということ～ 質疑応答・討議・修了生のライフライン提示
14:20	ワークショップ3 勤務校の課題と資源の分析 作成と協議	14:20	講義 何のための学校改善か？ "START WITH WHY."
15:20	ワークショップ4 勤務校を活性化する実践プランを立てよう！ ～プランの作成またはブラッシュアップ～ 作成と協議	15:00	まとめと振り返り 学校を活性化させるミドルリーダーとして
16:00	実践をめぐる応答 教職大学院教員からのアドバイス	15:35	終了
16:20	終了		